

兵庫県保険医協会北播支部 特別研究会

# 心肺蘇生を行わない？DNARって何？

日時 2月29日（土） 14:00～16:00  
 会場 小野市うるおい交流館エクラ1F 大会議室（〒675-1366 小野市中島町72）  
 講師 兵庫県立加古川医療センター救命救急センター長 当麻 美樹 先生  
 参加費 無料

近年、患者本人や代理者の意思決定をうけて心肺蘇生（CPR）を行わない「DNAR（do not attempt resuscitation）」が取り沙汰されています。  
 多死時代、とりわけ在宅死が増えつつある今日、臨床期や在宅などの救命の可能性がない患者さんに、心肺蘇生をあえて行わないことは「あり得る」かも知れません。しかし実際は、いまだ患者の医療拒否権について明確な合意が形成されているとは言い難く、それどころか医療現場の我々の中にも「DNARって最近よく聞くけど…？」という方も多いのではないのでしょうか。今日は県立加古川医療センターの当麻先生に「DNARとは何か？」の基本から理解していただき、医療従事者のみなさんと考える機会にしたいと考えます。  
 医師だけでなく、コ・メディカルや救急隊員など幅広いご参加をお待ちしています。  
 【北播支部長 林武志/西播市・はやし内科クリニック】

【当麻 美樹（とうま よしき）先生 ご紹介】  
 1982年北海道大卒 兵庫県立加古川医療センター副院長 救命救急センター長  
 兵庫県東播磨・北播磨・淡路地域メディカルコントロール協議会 会長  
 日本救急医学会救急科専門医・指導医・評議員、日本集中治療医学会専門医、  
 日本外傷学会外傷専門医、日本熱傷学会熱傷専門医、麻酔科検定医、  
 インфекションコントロールドクター、日本DMAT隊員

**ご参加お待ちしております** お問い合わせは、TEL 078-393-1809（吉永・平井まで）

## 【医科】2020年度 診療報酬改定研究会 **今からご予約ください！**

日時 3月26日（木）14時～  
 会場 コミセンおの コミュニケーションホール（小野市）  
 講師 林 武志 先生  
 参加費 無料 ※申込み不要

## 【歯科】歯科会員懇談会

「全身疾患と歯科治療～肝・腎疾患を中心に（仮）」・「2020年度診療報酬改定のその後（仮）」  
 日時 5月30日（土）18時～  
 会場 コミセンおの 会議室（仮）  
 講師 北播磨総合医療センター 歯科・口腔外科部長 南川 勉 先生 ほか  
 参加費 無料  
 お問い合わせは、TEL 078-393-1809（吉永・平井まで）

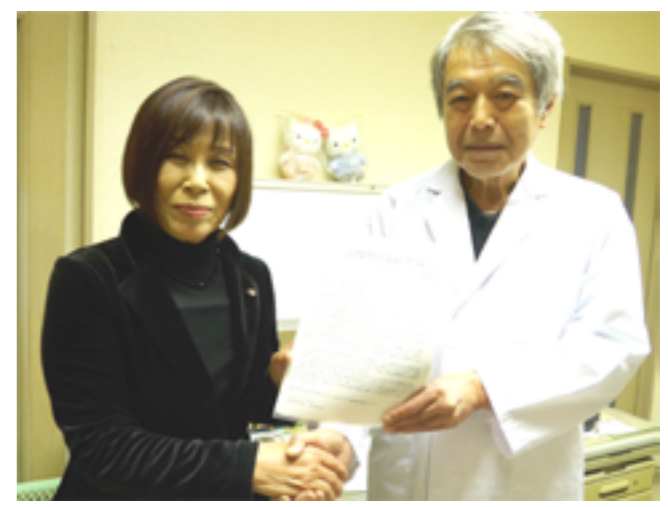
# 兵庫県保険医協会 北播支部 ニュース

2020年2月25日号 No.178  
 発行者 兵庫県保険医協会北播支部  
 支部長 林 武志  
 〒650-0024 神戸市中央区海岸通1-2-31  
 神戸フコク生命海岸通ビル5階  
 ☎(078)393-1801 FAX(078)393-1802  
 http://www.hhk.jp/

## 難病助成制度改善求める請願が加東市・小野市で採択

# すべての難病患者に助成を！

協会は、国の指定難病医療費助成制度（以下、難病助成制度）の改善を求める請願を県および各市町議会で進めている。北播支部でも加東・小野両市の12月定例議会に請願書・要望書を提出し、両市とも本会議でも採択された。（兵庫保険医新聞2月5日号既報）



加東市では桂先生（右）が岸本同市議会副議長（左）に請願書の紹介を依頼した

加東市では、11月12日、桂正剛評議員・支部世話人が、岸本真知子市議会副議長に紹介議員を要請。同議員の紹介のもと、桂先生、田淵光理事・世話人、曾野瑞弘評議員・世話人、林武志支部長が請願人となり請願書を提出した。同議会は、12月3日の総務文教常任委員会で請願を審議。全会派一致で採択された。24日の本会議でも審議され、全会派の賛成によって意見書が採択、国に提出された。

小野市議会では、西山敬吾予備評議員・世話人、林武志支部長が要望者となり、要望書を提出。12月18日の民生地域常任委員会で審議され、全会派一致で採択。25日の本会議でも、全会

派の賛成によって、意見書が採択された。



提出された請願・要望書

この請願活動は、国の難病助成制度に、2015年1月より新たに「重症度基準」が導入され、難病認定患者であってもこの基準で「軽症」と認定されると医療費助成の対象外とする改悪に対するもの。助成を受けられなくなった不認定患者等は全国で約14・6万人に上る。協会は、地域医療部会や各支部での討議を経て請願を行い、明石市・宝塚市・川西市・猪名川町議会で採択されている。

## 医療安全管理研修会

# 職場の中の「心理的安全性」が重要



具体的な対策を話す岸本敦子氏（左）と講義を聴く参加者たち（右）

北播支部は1月25日、小野市内で医療安全管理研修会「日常での医療安全管理～『気付き』レベルのアップのために～」を開催。市立西脇病院地域看護教育研修センターの岸本敦子氏を講師に、会員、スタッフら33人が参加した。参加者の感想文を紹介する。

### 【参加者の感想から】

- ★医療安全は1人1人が頑張っても効果を上げることも必要だが、それよりも職場の中の「心理的安全性」を高めることの重要性に気付かされました。（看護師 44年）
- ★わかり易く大変参考になりました。特に「難しいことからでなく、簡単なことから始める」という取り組み例が参考になりました。また「心理的安全性がハイパフォーマンスな職場をつくる」と。これを実践するためにチーム関係性がとても大切と思いました。コミュニケーションを大切にしたいと思います。（リハOT 25年）
- ★改めて日々の業務の中で見過ごしている点や、分かっているけど手間がかかるために放置している点などを見直したいと思

ます。それらが医療安全に繋がると認識できました。ただ、言うは易しで多職種協働で業務を成すことや互いに指摘し合うことの難しさの壁に当たっています。今日の研修を活かして一つでも変えていこうと思いました。（作業療法士 13年）

★診療の待ち時間の長さが自院でも問題になります。待合で待たれている患者様が診察室の方をチラチラ見られていることも知っていましたが、声をかけることはありませんでした。クレームを事前に防ぐことになるので、今後は積極的にお声かけしようと思います。（歯科助手 1年）

※（ ）内は職種と経験年数

## 健康と医療について語り合う会

# 大人のてんかん **正しい治療で症状抑制**

北播支部は11月24日、加東市社福祉センターで健康と医療について語り合う会を開催した。これは聴覚障害者らが医療や健康についての情報を学ぼうと定期的に開催する「聴覚障害者の医療を考える会（いのちを考える会）」の講師派遣の要請に応えたもの。豊岡市・ろっぽう診療所の千葉義幸先生が「大人になって出たてんかん」と題して講演し、市民、聴覚障害者の方を中心に40人が参加した。参加者の感想文を紹介する。



てんかんの治療や認知症との関連などについて手話通訳を介して講演する千葉先生（左）

### 【参加者の感想から】

- ★今までのてんかんのイメージが変わった。てんかんだと診断を正確にさせていただくことの大切さがわかりました。
- ★今後自分にも起こるかもしれないと聞いて怖くなった。ただ、症状がたくさんあり、

なかなか「てんかん」と判断できないし、難しいと思った。全く知らなかった知識を覚えられてよかった。

★とてもわかりやすいお話でした。地域医療にも頑張っておられる先生にエールを送ります。



## 世話人会だより

第354回 1月15日（水）小野市・加東市医師会館 参加10人

### ◆北播支部の会員数と組織率

1/15 現在 医科177人（91%）、歯科84人（60%）

### ◆情勢と医療運動対策など

「2020年診療報酬改定」について議論した。

### ◆当面の支部活動

DNA R研究会「心肺蘇生を行わない？DNA Rって何？」

日時 2月29日（土）14時～ 於・小野市うるおい交流館エクラ 大会議室

講師 県立加古川医療センター救命救急センター長 当麻 美樹 先生

参加費 無料

### ◆次回世話人会

2020年3月18日（水）19時30分～ 小野市・加東市医師会館

お問い合わせは ☎ 078-393-1809 吉永・平井 まで